

## ナース★アクション/看護学校副校長・事務長懇談会の概要報告

日時:2023年11月21日(火)17時半~18時半 オンライン開催

出席:札幌;花田副校長・田沢事務長、共立;河西副学院長・浅川事務長、東葛;児玉事務長、近畿;山口副校長、泉州;大谷副校長、ソワニエ;奈木野副校長・風早事務長、健和;山本副学院長・手島事務長、全日本;西村、宮川、野口

目的:11月1日&2日に開催した民医連看護学生交流集会 part3での「2023年全国看護学生アンケート調査の結果」を踏まえて、その後の各学校での取り組みを交流する。

**札幌:** クラスごとにホームルームを持って①「民医連アンケート」の中身を学び討議する ②勤看版のアンケートを実施する ③国に対して「ひと言メッセージカード」を書く、などのアクションを考えている。道民医連としては道議会各会派に要請を行い立ち話ではあったが直接議員と話が出来た。22日に県知事宛要請に関して行政と懇談を行い、その後記者会見。「朝日」「読売」「北海道新聞」「赤旗」が参加し、「読売」「朝日」「赤旗」が報道。「朝日」は追加取材して道内版で大きく取り上げてくれた。※別添参照

**共立:** 山梨の看護学校協議会加盟校に署名をお願いし集まってきている。私立大学の学長がアンケート調査結果に共鳴してくれ「本校でも学費が払えなくてやめていく学生がいる」と快く引き受けてくれた。23日(祝)に地域の“甲府えびす講祭り”に学院として出店を出しアンケート結果をポスターにして貼りだし署名をお願いした。「(教育に)お金がかかりすぎ、なんとかしないと本当に困っちゃいますよ」「(高等教育無償化)ぜひお願いしたい」「今の学生さん達は、私たちの時より大変」等、200人くらいのこどもたちが参加していたので、お母さんたちが快く署名に応じてくれた。ポスターを興味深く熱心に見ていく姿にも励まされた。本校の学生も参加して訴えた。クラスごとに「知っていますか?学ぶ権利」(久保田貢ミニ講演)の動画を視聴して、行動に移していく。父母会会長が戴帽式で訴えたりなど、父母会としても取り組んでいただいている。※別添参照

**東葛:** 10月に自治会の役員選挙があったが、この間の運動は先輩から引き継いでいる。ふたつの署名は自治会総会で呼びかけて学生から集めた。2年生が実習中なので戻ってきたら本格的に取り組みたい。

**近畿:** 学校祭で学生がナースアクションのブースをつくり、「一言メッセージ」と、署名をお願いした。京都民医連としてケアワーカー&ナース+ドクタープロジェクトを立ち上げて三者合同の街頭宣伝行動を11月11日に行い本校の学生も8人参加して初めてハンドマイクで訴えた。街頭での高校生の反応が良い。物価高騰で生活が大変なので県連理事会の場に自治会役員が乗り込んで食糧支援やカンパを訴える予定。学生の動きの変化を感じている。

**泉州:** 先日の集會も「難しかった」という反応で学生の中での動きはこれから。教職員の学習を行っている。

**ソワニエ:** ホームルームで学生がアンケート結果を説明し、学生ルームに掲示している。自治会としてはなかなか機能していないのが現状。

**健和:** 県連として10月18日に県に対して要請行動。本校の学生16人が修学支援金を申請したが3人しか受理されなかったこと等を訴えた。「県予算全体のバランスから考えている」引き続き懇談を続けましょうと。先日の集會には自治会の中でディスカッションしてから参加してくれていた。学院祭担当の学生が「まずは自分たちから」と各クラスで署名を訴えている。副学院長として法人制度教育の中でもお話ししている。

以上



北海道民主医療機関連合会

2023年11月22日

## 看護師不足の解消と 看護学生の学習環境整備を



### 北海道へ要望書手渡し

### 記者発表を開催

# ナース★アクション北海道

11月23日 赤旗

## 11月22日(水)

北海道との懇談では、要望の主旨について須田副会長が説明。急性期現場の状況を小原副看護部長、コロナ禍の外来の現状を皆藤副看護部長、介護現場の状況を相馬師長、苫小牧市の状況を松井看護部長、看護学生の奨学金について花田副校長が訴えました。



### 道保健福祉部懇談・記者発表参加者

中央病院	小原 愛 副看護部長
札幌病院	皆藤ちひろ 副看護部長
西区病院	浜館美保 連携室師長
老健柏ヶ丘	相馬直美 療養生活部師長
苫小牧病院	松井ひろみ 看護部長
看護学校	花田未希子 副校長
勤医協本部	須田倫子 統括看護部長
勤医協本部	久末美波 看護部係長

11月23日 読売

**看護師賃金改善 制度見直し要求**

道民医連、道に書面  
病院や高齢者施設などが加盟する北海道民主医療機関連合会(道民医連)は22日、新型コロナウイルス対策の一環で導入した看護師らの賃金改善策の対象が狭く、医療現場に不公平が生じていると訴え、改善してほしいと訴え、道に書面を提出した。国に制度の見直しを働きかけるよう求めている。

道民医連によると、昨年10月から救急病院を中心に、診療報酬に上乗せする形で看護師らの賃金を月1万円程度上げる制度が始まった。しかし、救急対応数などが狭く、道内の病院でも適用されている施設は4分の1程度。高齢者施設や訪問看護などは対象外で、少数で厳しい感染症対策を迫られている現場の看護師らには恩恵がないという。

22日に道庁で記者会見した中小医療機関の女性看護師は、「1日90人ほどの発熱患者が外来で訪れるが、制度の対象でない。日本郵便(本社・東京)の正社員と仕事内容が同じなのに寒冷手当が支給されないのは違法だとして、札幌地裁

原告側の請求棄却  
札幌地裁



北海道へ要望書を渡す参加者

参加した看護師は北海道へ「全ての看護職員の処遇改善を国に求めてください」「看護学生が経済的不安なく学び続けられる環境の整備を求めます」の要望書を北海道保健福祉部地域医療推進局医務薬務課看護政策担当佐藤行広課長、弓野壽子課長補佐、矢元栄司主幹に手渡しました。懇談では第8次北海道看護職員需給推計で2025年に1400名の看護師が不足する事について質問しました。北海道は現時点の対応について、再就職、就業の定着、地域偏在対策などの説明がありました。同日、記者クラブにて北海道議会各党派への要請、北海道知事への要望内容について記者発表を行いました。

民医連 北海道民主医療機関連合会

2023年11月22日

202.11.25 朝日新聞

### 看護師不足の解消と 看護学生の学習環境整備を



### 道内版で大きく取り上げ

# ナース★アクション北海道

11月25日 朝日

24日、朝日新北海道支社の記者から、記者発表の内容でいくつもお聞きして頂きました。内容は「看護処遇改善評価料」を算定し、同じ法人内で分配できない事の理由や北海道での算定件数、看護学生の貸付金の変換免除の仕組みなどについてです。担当された記者は「この問題は地域医療の存続にかかわる内容なので是非報道したい」と話されました。



**署名郵送**  
48 事業所から  
返信がありました

ナース・アクション 2 つの新署名 第1次集約は 11月30日です

11月25日現在の署名到達

- 処遇改善 1,406 筆
- 学費無償化 1,720 筆



## 都道府県知事などへの要請や、看護協会などとの懇談 報告書/共立看護学

- ◇訪問先 甲府えびす講祭り
  - ◇対応者
  - ◇日時 2023.11.23
  - ◇参加者 河西・押領司・浅川・学生(1年生)
- 

## ①こちらから主にお伝えした事

- ・「高等教育無償化を求める請願」署名について賛同をお願いしました。  
すぐには変わらないかもしれないが、自分たちの子供たちが高等教育を受ける年齢になった時に経済的理由により夢を諦めさせたくはない。今もアルバイトをして学費を支払っている学生もいる。誰もが安心して学び続けられるように賛同いただけるようであれば署名をお願いしたい。

## ②対応者の回答や反応

- ・4時間弱で68筆の署名が集まった。
- ・子どもの遊びのコーナーには200人近くのこどもが集まりました。自分の子どもが釣りのゲームをしているところを見ていた親御さんに声をかけましたが、皆さん快く応じてくれました。
- ・「ぜひお願いしたい、これから子供たちが大きくなって(教育に)お金がかかることが心配」「今の学生さん達は大変ですね。私たちの時より大変」というお母さん。
- ・「署名する大変さを私もよく知っているので、大変でしょ」と署名に率先してくださったお母さん。
- ・「本当に(教育に)お金がかかりすぎですよ、なんとかしないと本当に困っちゃいますよ」と小さな子供さんを連れていたお母さんの声がありました。
- ・中には個人情報なのでと遠慮されるお父さんも数名いらっしゃいました。
- ・東京都立の大学が都在住の授業料が無料になることを知らない方が多かったです。

## ③その他(参加者の振り返り内容や教訓など)

小さなお子さんのいる御家族が多く、多くの御家族に賛同してもらえた。全日本で行った学生アンケート結果を模造紙に貼り出したところ、興味を持って話を聞いてくれる方もいた。もっともっと広がっていきたいと思います。

